

「白山市総合計画 後期基本計画（案）」に対する ご意見とその取扱いについて

募集期間：平成24年1月26日(木)～2月8日(水)

結 果：1名の方から4件の意見

パブリックコメントに寄せられた計画案へのご意見、ご要望と、それに対する市の考え方は以下のとおりです。

記

ご意見、ご要望	市の考え方
<p>【第3章】参加と交流による一体感のあるまちを築きます 〈1節 協働型まちづくりの推進〉 「ボランティアグループ・NPOの支援体制づくりについての意見」 総合ボランティアセンターの整備とありますが、ボランティアグループやNPOが自由に使える、打合せや会合等が出来るスペースや他のグループ等と情報交換や情報共有が出来るようなセンター機能を作って頂きたいと思えます。</p>	<p>市は現在、(仮称)中央福祉館の建設を計画しています。同館には、多目的ホールや視聴覚室、点訳室などを設置する予定です。</p> <p>また、こがね荘内にある社会福祉協議会や、健康センター松任の高齢者支援センターを移転させ、福祉団体の活動拠点にするとともに、総合ボランティアセンターとしての機能も併せもった施設の整備を進めたいと思えます。</p>
<p>【第6章】利便性が高く住み良い快適なまちをつくりまします 〈4節 公共交通の利便性向上〉 「JR白山駅(仮称)の整備についての意見」 新幹線開業での経済効果への投資は必要かと思えます。しかし、新幹線総合車両基地の活用としての白山駅の整備について、一市民としては、無いよりかあれば多少便利(利用する)な程度の駅にしか感じられない。在来線と新幹線がどの程度停車するのも今からの協議かと思</p>	<p>市は、車両基地に30haを越える広大な優良農地を提供しておりますが、金沢以西延伸後は、松任駅に特急列車が止まらなくなるなど全くメリットがありません。</p> <p>市としては、折角できる基地を活用して駅をつくれば大変便利になると考えており、新幹線新駅の駅舎やプラットフォームを、JRや鉄道運輸機構に建設してもらうよう要望しております。</p> <p>また費用対効果についても、今後、関係機関と協議を進めていくこととして</p>

<p>いますが、費用対効果がどの程度あるかも市民にほとんど伝わっていません。駅を作ったことにより、同程度の経済効果があり、建設コストと維持管理コストを回収できるのかを市民にしっかりと説明提示して市民の理解のもとで進めてください。莫大な税金を使う価値があるかを明確にしてほしいと思います。</p>	<p>おります。</p>
<p>【第6章】利便性が高く住み良い快適なまちをつくります 〈4節 公共交通の利便性向上〉 「コミュニティバスの運行についての意見」 路線バス等の補完の役割ではあるが、高齢者や交通弱者の生活の足となっています。運用面での改善も必要と思いますが、乗車人員が少ないだけで、短絡的に廃止検討せず、創意工夫で必要な路線は、継続的にいろんな方法で維持するようにしてください。私達のいろんな方から問題点や不満を聞いておりますので、ご相談していきたいと考えております。</p>	<p>コミュニティバスについて、乗車人数が少ない便については安易に廃止とせず、需要予測や利用者の意見を伺いながら、できる限りデマンド運行や車両の小型化などを行い、維持してまいります。</p>
<p>【第8章】健全で効率的な行財政基盤を確立します 〈2節 行財政の健全化〉 「公共施設の統廃合についての意見」 公共施設の統廃合・有効利用を図ることは、重要かと思いますが、施設の場所や利用環境を踏まえ、有効であれば、赤字の施設でも残すことを考えても良いのではないのでしょうか。 バードハミング鳥越のプールの廃止の報道がありました。有効活用するような工夫をもっと考えてから結論をだせないのでしょうか。例えばバードハミング鳥越</p>	<p>今回お示した「公共施設の統廃合及び管理見直し方針案」は、赤字施設全てを廃止するものではなく、施設の必要性や地域性等を十分考慮し、また民間等への移管も含め検討してきました。 バードハミング鳥越は、温泉、宿泊、食堂、プール・バーディーゾーンなどの複合機能をもつ観光宿泊施設であります。本施設の収支状況は、これまで大幅な赤字経営が続いており、経営改善や施設の用途変更等を検討すべき施設でありました。 今回のバードハミング鳥越の方針案</p>

のプールを利用し，白山ろくの高齢者に水中ウォーキング等で利用していただき，健康な身体の維持に努めて頂くことにより，医療費の抑制に繋げる。特に冬季積雪により，屋外でのウォーキングもなかなか出来ない環境であるので，既存施設を使ってもらおう施策が必要かと思えます。

人口比からも白山ろくの施設運営の赤字は仕方がないと思えますし，間接的な医療費抑制効果や街の税金の配分での補填も過疎化抑制のために必要な投資と思えます。

については、観光施設から健康増進施設に変更する。温泉部門は存続し、宿泊部門及びプール・バーディーゾーンは廃止し、飲食部門は外部委託等を検討するものであります。

これらの方針案については、有効活用策も含め、市議会や外部委員による行財政改革戦略会議をはじめ関係地域の皆様への説明及びご意見等をいただき進めていくこととしております。